

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会

【小学校部会】

令和5年11月29日（水）八潮市立八幡小学校

第4学年「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

教諭 藤田 晃輔（T1）

養護教諭 冨塚 里江（T2）

【中学校部会】

令和5年11月16日（木）志木市立志木中学校

第1学年「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

教諭 市橋 亜美（T1）

養護教諭 力丸真智子（T2）

【高等学校部会】

令和5年11月22日（水）県立北本高等学校

第2学年「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

教諭 川尻鈴ノ介

(小学校部会)

令和5年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月29日（水）

4 会 場 八潮市立八幡小学校 八潮市中央4-21-16

5 参加者 (1) 八潮市立小中学校、県内特別支援学校（小学部設置）の教職員（教諭、養護教諭等）

※八潮市立小学校においては各学校1名参加してください。

(2) 東部教育事務所（埼玉地区）管内市町教育委員会の指導主事等

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|----------|
| (1) 受付 | 13時20分～ | (図書室) |
| (2) 開 会 | 13時35分～13時50分 | (図書室) |
| (3) 公開授業 | 13時55分～14時40分 | (4年1組教室) |
| (4) 研究協議 | 14時50分～16時30分 | (図書室) |

7 公開授業

学年	授業者	単元名
4年	藤田 晃輔 教 諭 (T1)	体の発育・発達 (イ) 思春期の体の変化
	冨塚 里江 養護教諭 (T2)	

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 査	峰岸 宏次
八潮市教育委員会指導課	主任指導主事	加藤 裕也

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼 玉 大 学 教 育 学 部 教 授	委 員 長	戸 部 秀 之
川 口 市 立 並 木 小 学 校 校 長	副 委 員 長	岩 澤 奈 々 子
毛 呂 山 町 立 泉 野 小 学 校 教 諭	委 員	綿 貫 聡
本 庄 市 立 藤 田 小 学 校 養 護 教 諭	委 員	塩 澤 美 保 子

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・お車でお越しの際は、北門側から入り、駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下の方法をお願いします。

八潮市立八幡小学校への御案内



(2) 体の成長とわたし

(ア) 育ちゆくわたしたちの体

(イ) 思春期にあらわれる変化

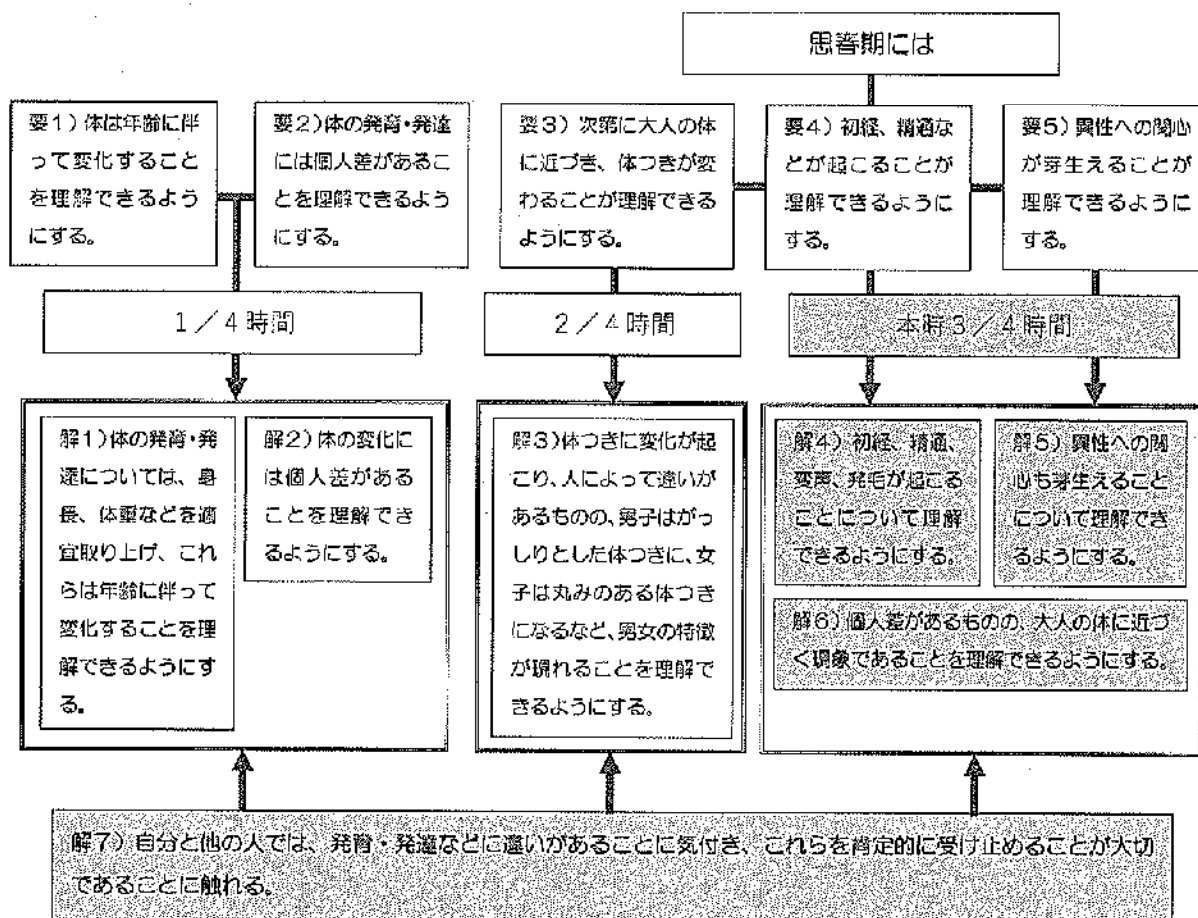
1 指導内容の系統性

中学校では、生殖にかかわる機能の成熟に伴う変化に対応した適切な行動について学習する。その前段階としての小学校段階は、体の発育・発達について、思春期の体の外に現れる変化や体の中に起こる変化、その個人差などを学習し、自分のこととして実感し、肯定的に受け止めることが大切であることに気付かせるよう配慮する。

2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達の段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。



3 知識を活用した学習

第3時は、思春期には精通・初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようになることを狙いとしている。学習の際には、自分事として捉え、必要感をもたせることが大切である。

【導入】(習得①)

〈マンガ吹き出しクイズ〉

男子は精通、女子は初経が起きた場面を吹き出しにし、現時点での知識を把握する。また、これらは誰もが起こることであることを説明し、自分事として捉えさせる。

〈本時の課題〉

思春期の男女の体の中ではどのような変化が起きているのだろう。

【展開1】(習得②)

〈養護教諭による説明〉

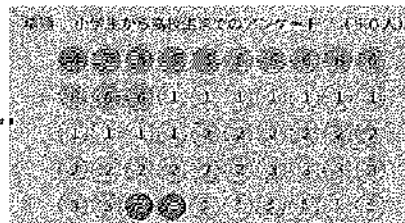
学習指導要領に則り、最低限の内容を精査し子どもたちに「精通・初経」「異性への関心」について説明する。

〈指導すべき内容〉

- 思春期には精通・初経が起こること。
- 思春期には異性への関心も芽生えること。

〈精通・初経の発生時期の説明〉

教科書に掲載されているグラフを本校の割合に置き換え、視覚的に分かるようにすることで、自分事として捉えさせる。



〈クイズ!これっておかしい?ふつう?〉

異性への関心が芽生えてきている場面の葛藤をクイズ形式にし、ちょっかいをかけたくなること等もおかしいことではないことを確認する。

「クイズ!これっておかしい?ふつう?」

- ①男の子と女の子、まざって遊ぶ
おかしい? ふつう?
- ②男の子どうし、女の子どうしだけで遊ぶ
おかしい? ふつう?
- ...

【まとめ】(習得③)

- 思春期には、男子は精通、女子は初経が起こる。(個人差) これは新しい命を生み出す準備。
- 異性へのきょうみがわく。

【展開2】(活用①)

〈ケーススタディ〉

「精通・初経」「異性への関心」に関する不安や悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。

〈個別最適な学習～児童が自分で選択する～〉

- ・場面①②から1つ、③④から1つ選ぶことで「精通・初経」「異性への関心」を網羅できるようにする。
- ・ワークシートかタブレットか選べるようにする。

評価【知識・技能】(観察・学習カード・タブレット)

思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】

第4学年1組 体育科（保健領域）学習指導案

令和5年11月29日（水） 第5校時 4年1組教室

25名

八潮市立八幡小学校

教諭 藤田晃輔（T1）

養護教諭 富塚里江（T2）

1 単元名「体の発育と健康」

2 単元について

本単元は、「年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解できるようにすること」、「体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにすること」、「体の発育について、健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができるようにすること」の3点をねらいとしている。具体的には、①身長や体重など、体は年齢に伴って変化すること、②思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること、③思春期には精通・初経が起こり、異性への関心が芽生えること、④体をよりよく発育・発達させるためには調和のとれた食事、適切な運動、休養、睡眠が必要であること、について理解を深める。

これから児童に起こる心や体の変化に対して、大人へと近づく大切な変化であり、個人差や男女差があること、友達と違っていても当たり前（大丈夫）であることに気づかせ、不安を抱かせないように指導し成長に対する喜びや期待をもたせたい。

3 児童の実態

（1）知識及び技能

これまで児童は、第3学年の「健康な生活」において、健康な状態には主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることや健康の保持増進には1日の生活の仕方が深く関わっていることなどを学習してきた。また、長期休業日や小中一貫教育の取り組みとして「歯みがきカレンダー」や「生活習慣チェック」に取り組み、歯を磨く大切さや早寝早起き、メディアの使用の仕方について定期的にふり返ることができている。

（2）思考力、判断力、表現力等

男女の仲が良く、男女分け隔てなく関わる事ができている。そのおかげでペア学習やグループ学習においてもスムーズに話し合いをすることができている。一方で、発言者がかたよってしまったり、一部の児童の影響が大きくなってしまったりしているのが現状である。

（3）学びに向かう力、人間性等

本学級の児童の約8割が「保健の学習は好き」で9割以上が「健康は大切」であると事前アンケートで回答している。その一方で、「自分の体の成長」を感じている児童は半数もおらず、体の成長に対して不安を感じている児童はかなり少ない。従って、特に第2、3時の思春期の体の発育の学習において実感を伴った理解をすることが難しいことが考えられる。

【アンケート結果】

令和5年10月26日（木）実施

	はい	いいえ
1 保健の学習は好きですか？	19	5
2 健康は大切だと思いますか？	22	2
3 大人と子どもの体はどのような所が違うと思いますか？ 体格。背の高さ。力の強さ。体重。筋肉のつき方。骨の硬さ。食べる量。		

4	自分の体が大人に近づいているなど感じることはありますか？	10	14
4-1	それはどんな時ですか？		
	背が高くなった。胸が大きくなった。握力が強くなった。		
4-2	大人に近づいていると感じるとき、不安になったり悩んだりしましたか？	4	6
5	おうちの人と自分の体について話すことはありますか？	11	13
6	うでやわきに毛が生えてきたらはずかしいと思いますか？	13	11
7	異性の友達と仲良く過ごすことはできていますか？	18	6
8	異性の友達と話すとき、はずかしくなるときはありますか？	5	19
9	異性にちょっかいを出しておこられたことがありますか？	10	14
10	異性と仲良く過ごしたいですか？	17	7
11	自分の体について学習することは大切だと思いますか？	20	4
12	保健の学習で知りたいことはありますか？		
	健康でいるためには。背が伸びる仕組み。筋肉のつき方。なぜ声が低くなるのか。自分は健康なのか。		

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

保健領域においては単に知識を理解させるだけでなく、いかに「自分事」と捉えかつ「必要感」をもって学習することができるかが大切である。自らの健康課題について、今後の自分がどうありたいかを考え、生活の仕方をよりよくしていこうと考え実践していくことができる資質・能力の育成を目指している。児童は大人になることは「体が大きくなること」と捉えがちだが、本単元では「体の中の成長」もあるということを伝えていく必要がある。

(2) 思考力、判断力、表現力等

本単元では、「知識を習得」し「活用」という流れで1時間の授業の流れを組んでいる。授業後半に体の発育に関わる身近な事象から課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現する活動を充実させる。特にケーススタディを用いて知識を活用する活動を通して、思考力、判断力、表現力を高めていきたい。

(3) 学びに向かう力、人間性等

単元を通して、体の発育には「個人差」があることを伝えていくことで、児童が感じる不安を取り除けるようにする。また、思春期の体の発育に対し恥ずかしいと感じる児童も多いが、肯定的に受け止められる態度も育てていきたい。なお、男子は男子の発育、女子は女子の発育だけを知るのではなく男子が女子の発育、女子が男子の発育を知り、お互いに理解し合える環境を作っていきたい。

以上のことから、次のような手立てを講じることとする。

- ・児童が知りたい、考えたいと思えるような教材を準備するために、事前アンケートを取り、児童の実態を把握する。また、担任とも連携し発問や声掛けの精査を行う。
- ・児童が興味関心をもつよう、養護教諭に専門的な知識の解説を行ってもらう。
- ・恥ずかしいと感じないように個人学習、グループ学習、全体指導の場面を精査する。また、ゲーム形式やクイズ形式も取り入れ、学級の雰囲気や和らげる。
- ・イメージしづらいことはICTを用いて説明することで理解を深めさせる。
- ・ケーススタディでは児童に身近な事象や保護者の実体験を取り入れる。
- ・身近な体験を伝えるために保護者アンケートを取り、学習に体験談等を取り入れる。

5 単元の目標

- (1) 年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。＜知識及び技能＞
- (2) 体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。＜思考力、判断力、表現力等＞
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気づき、自己の保持増進に進んで取り組むことができるようにする。＜学びに向かう力、人間性等＞

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思春期には体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見つけている。 ②体をよりよく発育・発達させるための生活について、学習したことを自己の生活と比べたり、関連づけたりするなどして適切な解決方法を考え、説明している。	①体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習を通して、自分の生活を振り返り、今後の自分のよりよい生活の仕方について考えることに進んで取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価計画（全4時間）本時は第3時 ※主体的に学習に取り組む態度は単元を通して適宜評価していくので、破線で示している。

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	I ねらい ・身長、体重などに伴う体の変化と個人差について、理解できるようにする。 II 学習活動 1 身長並び順クイズを行う。 2 本時のねらいを確認する。 3 1年～4年時の身長の伸びグラフを作成する。 4 友達と比較して気づいたことを話し合う。 5 いくつかの身長の伸びを示したデータを見て、身長の伸び方について考える。 6 身長が急に伸びる時期や変化する量は個人差があることを知る。 7 学習のまとめをする。 8 ケーススタディを行う。 9 ふりかえりを行う。 〈指導すべき内容〉 ・身長や体重は年齢に伴って変化する。 ・体の変化には個人差がある。	①			発言の観察 学習カード の記入
2	I ねらい ・思春期には体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見つけ、説明することができるようにする。 II 学習活動 1 シルエットクイズを行い男女の体つきの違いについて考える。 2 本時のねらいを確認する。 3 これから起こる体つきの変化について予想する。 4 成長発見ゲームを行う。 5 思春期に起こる体つきの変化について確認する。 6 身近な大人の体験談を聞く。 7 体の変化が起こる時期には男女差、個人差があることを知る。 8 学習のまとめをする。 9 ケーススタディを行う。 10 ふりかえりを行う。 〈指導すべき内容〉 ・思春期の体つきの変化には男女差、個人差がある。 ・思春期には変声、発毛が起こること。	②	①		発言の観察 学習カード の記入

③	I ねらい ・思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 II 学習活動 1 マンガ吹き出しクイズを行い体の中に変化が起こることを知る。 2 本時のねらいを確認する。 3 精通・初経について知る。 4 体の中の変化について考え、まとめる。 5 思春期には異性への関心も芽生えることを知る。 6 学習のまとめをする。 7 ケーススタディを行う。 8 ふりかえりを行う。 〈指導すべき内容〉 ・思春期には精通・初経が起こること。 ・思春期には異性への関心も芽生えること。	③			発言の観察 学習カード の記入
4	I ねらい ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解できるようにする。 ・体をよりよく発育・発達させるための生活について、学習したことを自己の生活と比べたり、関連づけたりするなどして適切な解決方法を考え、説明することができるようにする。 II 学習活動 1 アンケート結果から、本時のねらいをつかむ。 2 給食の献立から体がよく育つために必要な食物について知り、よりよい生活について考える。 3 よりよい成長に必要な運動の仕方について知り、よりよい生活について考える。 4 休養と睡眠の役割について知り、よりよい生活について考える。 5 学習のまとめをする。 6 ふりかえりを行う。 〈指導すべき内容〉 ・体をよりよく発育・発達させるためには、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であること	④	②	①	発言の観察 学習カード の記入

8 本時の学習と指導（3／4）

（1）ねらい

- ・思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
- ＜知識及び技能＞

（2）資料及び準備するもの ・ワークシート ・掲示資料 ・タブレット

（3）展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点（指導○ 評価◆）	
		T 1	T 2
導入（つかむ・見通す） 5分	1 思春期の男の子、女の子の体の中の変化について考える。 マンガ吹き出しクイズ ・男子は精通、女子は初経が起きた場面を吹き出しにし、現時点での知識を把握する。	T 1 ○スクールタクトでマンガ吹き出しクイズを提示し、男女それぞれなぜ困っているか考えさせる。 ・吹き出しの答えは発表させず、児童が答えたものを教師がいくつか選んで伝える。 ・まったく想像がつかなければ未記入でもよいことを伝える。 T 2 ・誰でも起こることだということを伝える。	
展開（考える） 15分	2 本時のねらいを確認する。 課題 思春期の男女の体の中ではどのような変化が起きているのだろう。	T 1 ・男女が互いの体の変化の仕方に理解を深めることが大切だと伝える。	
	3 精通・初経について知る。 	T 2 ○「精通」「初経」の意味を伝える。 ・精通、初経が起こる理由は命を生み出すためのすばらしいことだと伝える。 ・生命の誕生（精子卵子）は5年で習うので知りたければいつでも質問しに来て良いことを伝える。 ・射精、月経は一回で終わりではないことを伝える。 ・これから起こる人もいて、心配することはない、起こることは正常であることを伝える。 ・起こる時期には個人差があることを伝える。 T 1 ○精通や初経が起こる年齢を、視覚的に分かるグラフで説明する。	
	4 最初の吹き出しにまとめる。	T 1 ○マンガ吹き出しクイズに戻り、養護教諭の話から学んだ言葉（精通、初経）を教師が代表して入力する。	
	5 異性への関心の芽生えについて考える。 「これっておかしい？ふつう？」	T 1 ○異性に対してのもつ様々な気持ちは、どれも間違っていないことを伝える。	

6 学習のまとめをする。

- ㊦ ○思春期には、男子は精通、女子は初経が起こる。(個人差)
これは新しい命を生み出す準備。
○異性へのきょうみがわく。

7 ケーススタディを行う。

- ①まさやさんが「おしっこだと思ったらなんか白いねばねばしたのが出てきた。これって病気かな」と悩んでいます。
②りょうすけさんが「きらいじゃないのに女の子にちょっかいだしちゃうんだよね」と悩んでいます。
③さとみさんが「体の変化が私だけぜんぜん起きなくて、取り残されているみたいで心配」と悩んでいます。
④ふじこさんが「のりあき君と遊びたいけど、からかわれそうだから、なんだかはずかしいな、…」と悩んでいます。



8 ふり返りを行う。

◆思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】

△「努力を要する」状況 (C) と判断される児童へ指導の手立て

・「精通」「初経」「異性への興味」の意味についてもう一度ふれ、誰しも起こることを再確認する。それを踏まえた上でケーススタディにおいてアドバイスするように促す。

◎「十分満足できる」状況 (A) と判断される児童の具体的な姿

- ・ケーススタディ①②において「精通」「初経」という言葉を用いて説明し、さらに個人差があるということにも言及している。
- ・ケーススタディ③④において「異性への関心」が芽生えることは悪いことではないことを説明している。

T1 ○①②から1つ③④から1つできそうな方を選ぶよう指示する。

- ・ワークシートに直接書いてもよいし、タブレットで打ってもよいことを伝える。

T1・いつでも担任や養護教諭に相談してよいことを伝え、肯定的に終われるようにする。

9 板書計画

(黒板)

課題 思春期の男女の体の中ではどのような変化が起きているのだろう。



「クイズ!これっておかしい?ふつう?」

- ①男の子と女の子、まざって遊ぶ
おかしい? ふつう?
- ②男の子どうし、女の子どうしだけで遊ぶ
おかしい? ふつう?
- ③男の子と女の子で同じ考えをもつ
おかしい? ふつう?
- ④男の子と女の子でちがう考えをもつ
おかしい? ふつう?
- ⑤異性にちょっかいをだしちゃう
おかしい? ふつう?
- ⑥異性のうわさ話をする
おかしい? ふつう?

㊦ 思春期には、男子は精通、
女子は初経が起こる。(個人差)
異性へのきょうみがわく。

(TV)

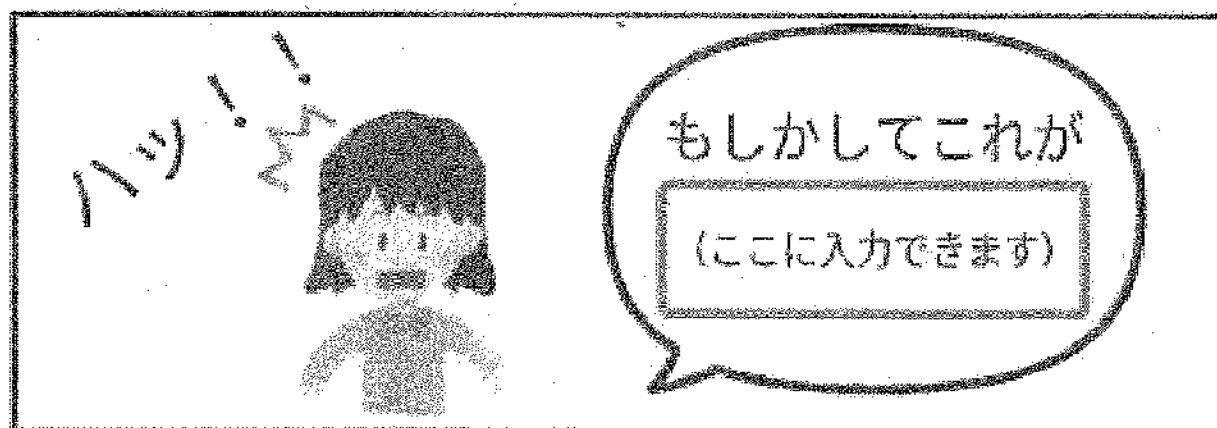
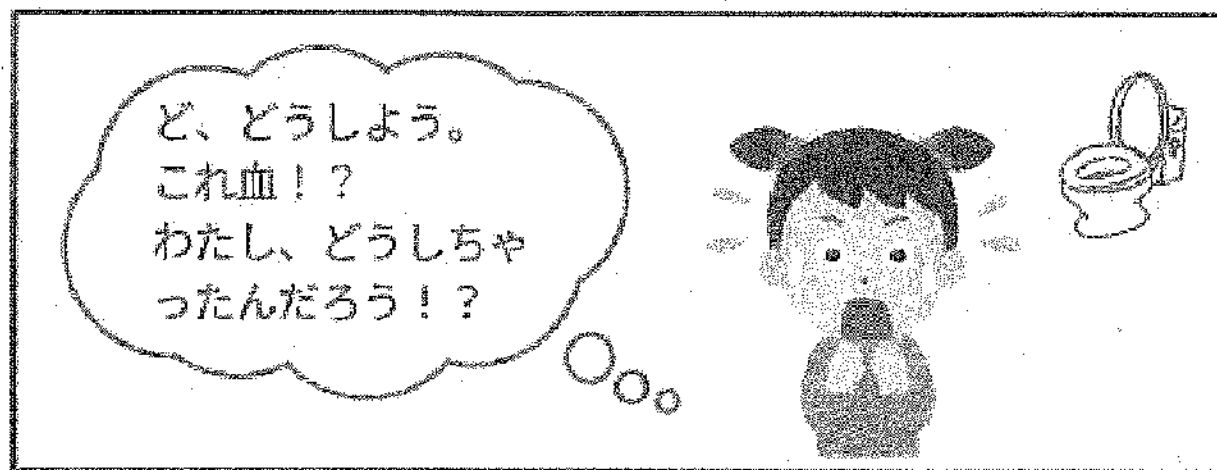
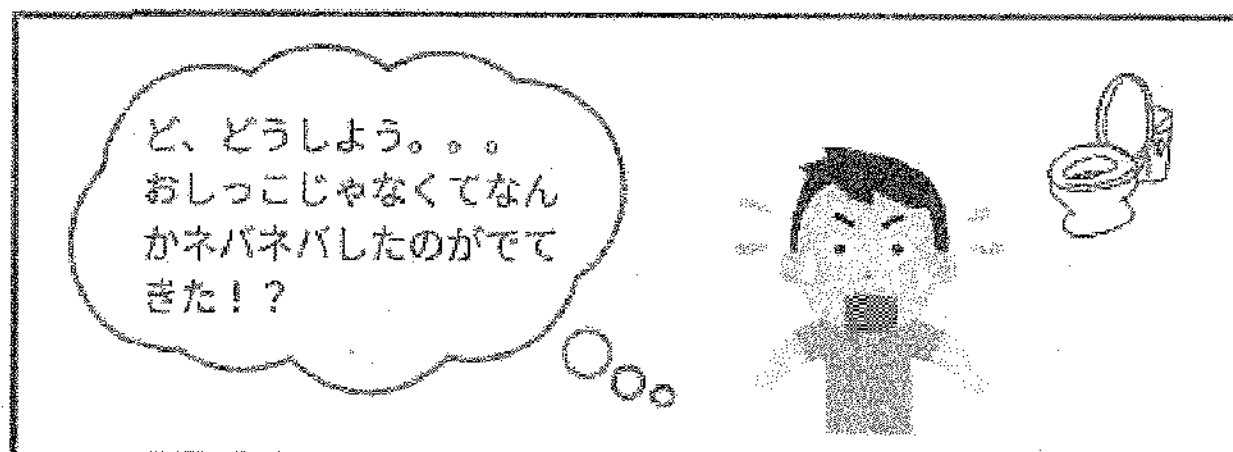


精通 小学生から高校までのアンケート (50人)

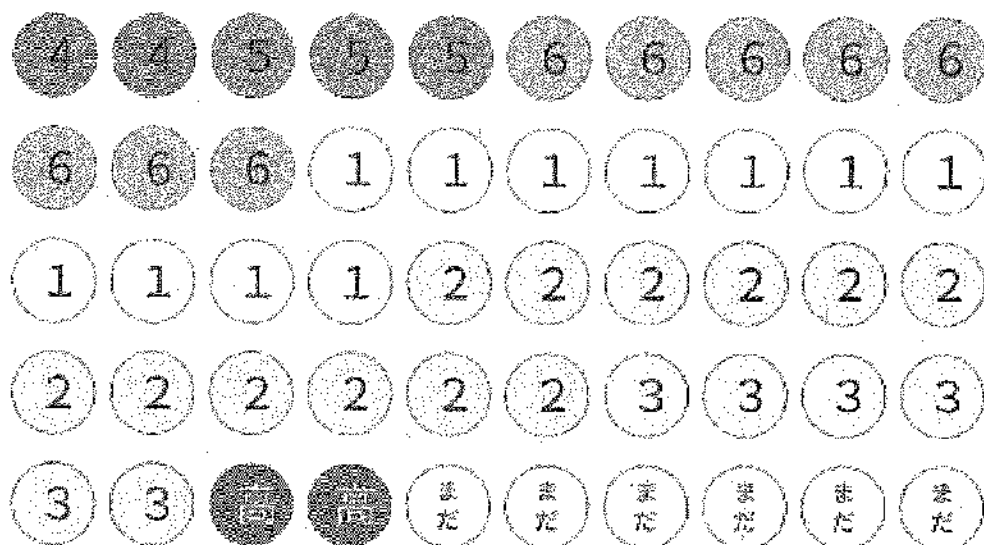


初経 小学生から高校までのアンケート (30人)

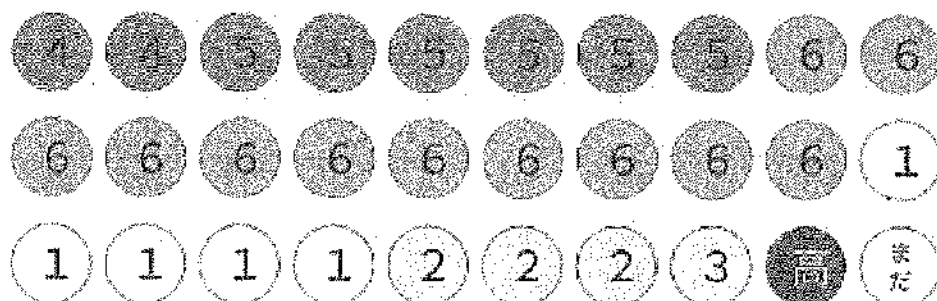




精通 小学生から高校生までのアンケート (50人)



初経 小学生から高校生までのアンケート (30人)



体の中にあられる変化

⑤

- ⑤ ○思春期には、男子は（ ）、
女子は（ ）が起こる。【個人差】
○（ ）へのきょうみがわく。

おなやみかいけつコーナー

りょうすけさん

おしっこだと思ったらなんか白いねばねばしたのが出てきた。これって病気かな？



さとみさん

体の変化が私だけぜんぜん起きなくて、、、取りのこされているみたいで心ばいです。



まさやさん

きらいじゃないのに女の子にちょっかいいだしちゃうんだよねー。これって変なのかな？



ふじこさん

のりあき君と遊びたいけど、からかわれそうだから、なんだかはずかしいな、、、



ふりかえり（これからむかえる体の変化について、今の気持ちを書いてみよう！）

名前（ ）

第3時

今日はみんなの体の中で、これからどんな変化が起きるのかお話をしますね。初めて聞く言葉も出てくるので今日も言葉のカードとイラストで〇〇先生が示してくれるので目で確認しながら聞いてください。

まず男の子です。

男の子は思春期になると、「精子」がつくられるようになります。精子は、男の人が持つ赤ちゃんのもとです。これが白っぽい液体と一緒に体の外に出ることがあって、これを「射精」といい、初めての射精を「精通」といいます。寝ている間に起こることもあるので知らないとおねしょとか、病気かもと心配になりますね。覚えておきましょう。

次に女の子です。

女の子は将来赤ちゃんを産むことができるのは知っていますね？この準備が体の中で始まります。思春期になると「卵子」という女の人が持つ赤ちゃんのものが育って「子宮」という赤ちゃんが育つところに運ばれます。でも卵子は24時間くらいしか生きることができないのでこの間に「精子」と出会わなければ、卵子は壊れてしまい子宮の中の血液などと一緒に体の外に出されます。これを「月経」といいます。生理という人が多いです。初めて起こる月経を「初経」といいます。卵子は月に1回くらいの割合で育って子宮へ運ばれていくので「月経」は月に1度くらい起こります。

男の子の精通と女の子の初経は、新しい命を生み出すという、と一つでも大切な準備が体の中で始まりましたよというサインです。だから、精通や初経があったら、それまで以上に自分の体を大切にしてほしいなと思います。そして精通や初経が起きる時期、気になるとは思いますがそれは人それぞれ、「個人差」があります。

ここまでの学習で、みんなは身長が伸びて体が大きくなるだけでなく、体の外と中で大人に向かって大事な変化が起きることは分かったと思いますが、さらにもう一つ変化していくところがあります。それは心です。体が変化することで男女の「性のちがい」に気づくようになると、異性：男子から見た女子、女子から見た男子のことを「異性」といいますが、異性のことが気になるようになります。好きだなとか仲良くしたいな〜とか、逆に悪口やいじわるしてみたくなったりする人もいます。それから、自分と周りの人を比べて考えこんだりするようになる人もいます。こういう心の変化が起きるのも、自然なことで、心の変化にも個人差があります。大切なのは、ひとりひとり、違いがあることを知って、お互いを思いやる気持ちを持つことです。これからみんなは心も成長していきます。

(中学校部会)

令和5年度埼玉県「性に関する指導」(保健教育)授業研究会開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科(保健体育科)の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月16日(木)

4 会 場 志木市立志木中学校 志木市柏町3-2-2

5 参加対象者 (1) 県内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の教諭(体育科・保健体育科担当)、養護教諭等
(2) 各市町村教育委員会の指導主事

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| (1) 受付 | 13時00分～ | (体育館) |
| (2) 開 会 | 13時20分～13時35分 | (体育館) |
| (3) 公開授業 | 13時40分～14時30分 | (体育館) |
| (4) 研究協議 | 14時50分～16時30分 | (体育館) |

7 公開授業

学年	授業者	单元名
1 年	市橋 亜美 教 諭 (T1)	(2) 心身の機能の発達と心の健康 (イ) 生殖に関わる機能の成熟
	力丸真智子 養護教諭 (T2)	

8 指導者及び役員

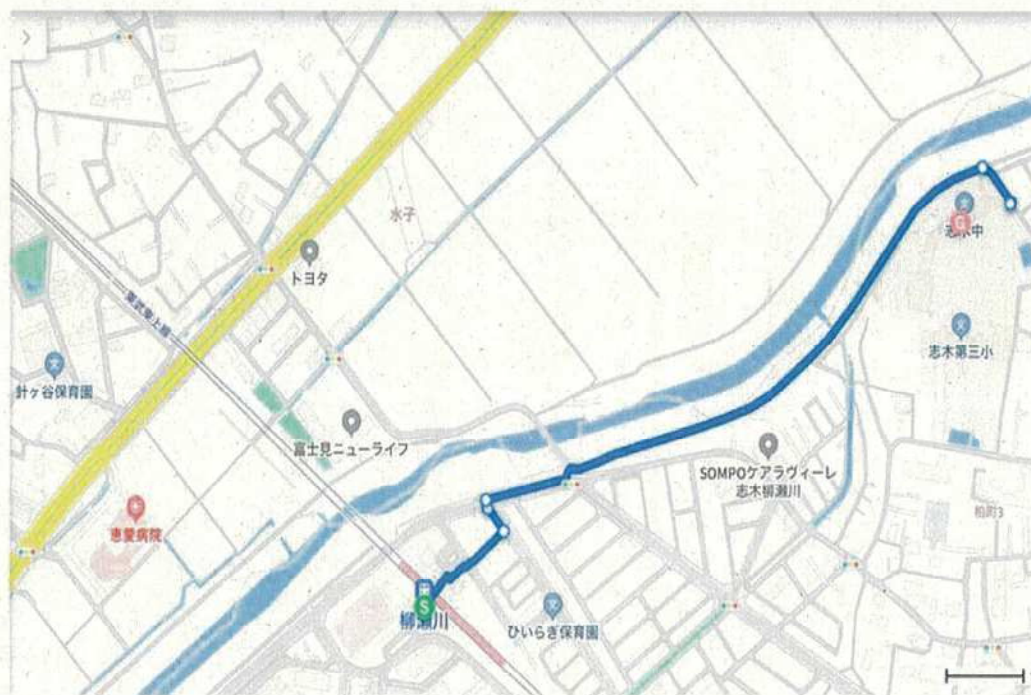
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 幹	脇田 一 亮
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	阿久津広真
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	澤村 文 香
志木市教育委員会学校教育課	指 導 主 事	木内 芳 公

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委員長	戸部 秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
春日部市立東中学校教諭	委員	江夏 彩香
所沢市立小手指中学校養護教諭	委員	三好明日美
毛呂山町立泉野小学校教諭	委員	綿貫 聡
八潮市立八幡小学校教諭	委員	藤田 晃輔
本庄市立藤田小学校養護教諭	委員	塩澤美保子
県立北本高等学校教諭	委員	川尻鈴ノ介
県立進修館高等学校教諭	委員	梨本 雄太
県立和光国際高等学校養護教諭	委員	斉藤美智子

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・駐車スペースには限りがございます。できる限り公共の交通機関を御利用ください。
- ・公共交通機関で会場校に来校する際には、以下の方法をお願いします。



(2)心身の機能の発達と心の健康

(イ)生殖に関わる機能の成熟

1 指導内容の系統性

小学校では体の発育・発達については、思春期には体つきの変化が現れ、初経、精通が起こる、異性への関心が芽生えることなどを学習している。また、年齢に伴う体の変化には個人差があることを学習している。

2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

イ 思考力、判断力、表現力等

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要1) 思春期には、

1/3時間

要2) 内分泌の働きによって生殖機能に関わる機能が成熟することが理解できるようにする。

解1) 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。

2/3時間

要3) 成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることが理解できるようにする。

解2) 身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

本時 3/3時間

要3) 心身の機能の発達について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

解3) 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

3 知識を活用した学習 (3/3)

第1時では、小学校で得た知識をもとに、思春期には下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きによって生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、月経や射精が起こること、それにより妊娠が可能になることを学習した。第2時では、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて学習した。「生命の安全教育」をもとに心と体の距離について得た知識をもとに、性に関する適切な態度や行動を選択し、実践する力を身につけることができることを目指している。

導 入

前時までの学習内容から、性との向き合い方で大事なことを黒板とiPadで提示する。
日常生活で具体的に困った場面の話を絡めながら本時の学習課題を提示し、よりよい関わり方について課題意識をもつ。前時までに学習した、人とのよりよい関わり方のポイントを全体で確認をし、本時の課題の解決策を考える。

【本時の課題】 異性を尊重する態度を身に付け、より良い人間関係について考えよう。

展開1

習得①

ロールプレイ学習でパートナー同士のやりとりを行い、導入で確認したポイントを活用しながら実践することで、人とのよりよい関わり方の理解を深める。

方法①

自分の気持ちをパートナーにうまく伝える方法を考える。ペアでロールプレイ学習を行い、やりとりを実践する。ペアでロールプレイ学習を振り返り、実際にやりとりをして感じたことや気付いたことを、ロイロノートにまとめる。

展開2

習得②

自分の活動の振り返りと、上手な人の動画を見ることで、他者の考え方や人とのよりよい関わり方に気づき、新たな知識を得ることで、深い学びに繋げる。

方法②

上手なやりとりを見て、よかった点や自分たちとの違いをペアで話し合い、具体的な改善策をロイロノートにまとめる。

評価【思考・判断・表現】(ロイロノート、動画、観察)

性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。

まとめ

習得③

「性に関する指導」の授業を通して学んだことや今後の自分の生活への活かし方について、キーワードをもとに理解し、深い学びに繋げる。

方法③

「性に関する指導」の授業3時間分のまとめを各自でロイロノートに考えを記入し、まとめる。自分事としてよく考えまとめられているものをクラス全体で共有する。

保健体育科（保健分野）学習指導案

令和5年11月16日（木）第5校時 体育館

第1学年2組 34名

志木市立志木中学校 教諭 市橋 亜美（T1）

養護教諭 力丸 真智子（T2）

1 単元名「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

2 単元について

中学生期は、身体的な成熟に伴う生殖機能の発達に応じて性衝動が生じたり、自己の認識や異性への関心などが高まったりする時期である。また、体の変化が著しく個人差も大きいことから、その変化に戸惑い、不安や悩みをもつようになる時期でもある。本単元では、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを科学的に理解する。また、性的な発達に対応して、異性の尊重、性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動の選択が必要であることを理解し、体や心の変化を肯定的に受け止め、自分や周りの人を大切に思いやる気持ちを育てたい。

3 生徒の実態

（1）知識及び技能

小学校4年生の保健の授業で「思春期の体の変化」の単元で子供から大人への体の変化や男女の体の違いについて学習している。また、ニュースやネットなどで言葉を見たことがある生徒もあり、知識の定着については差がある。

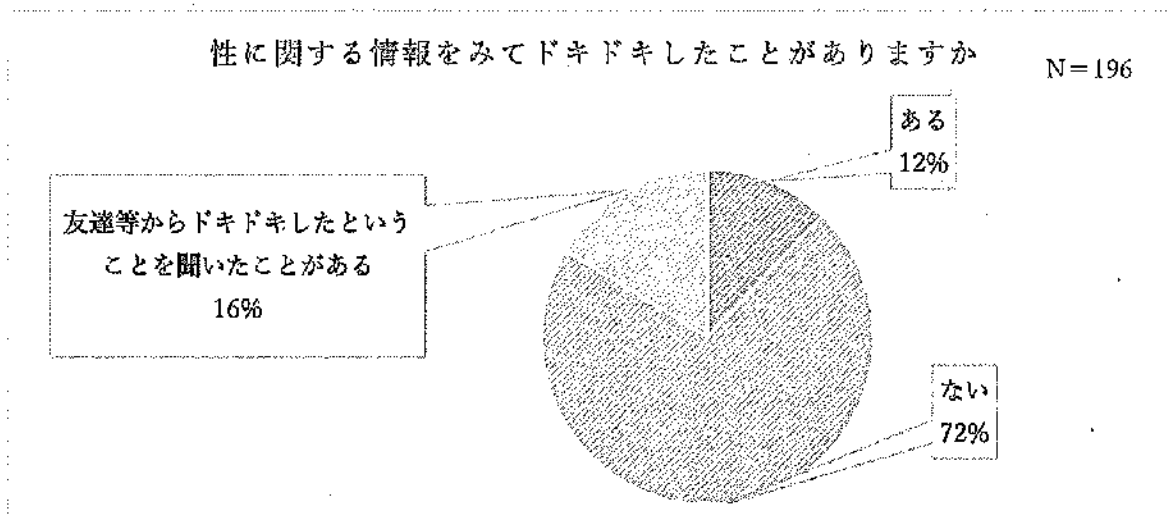
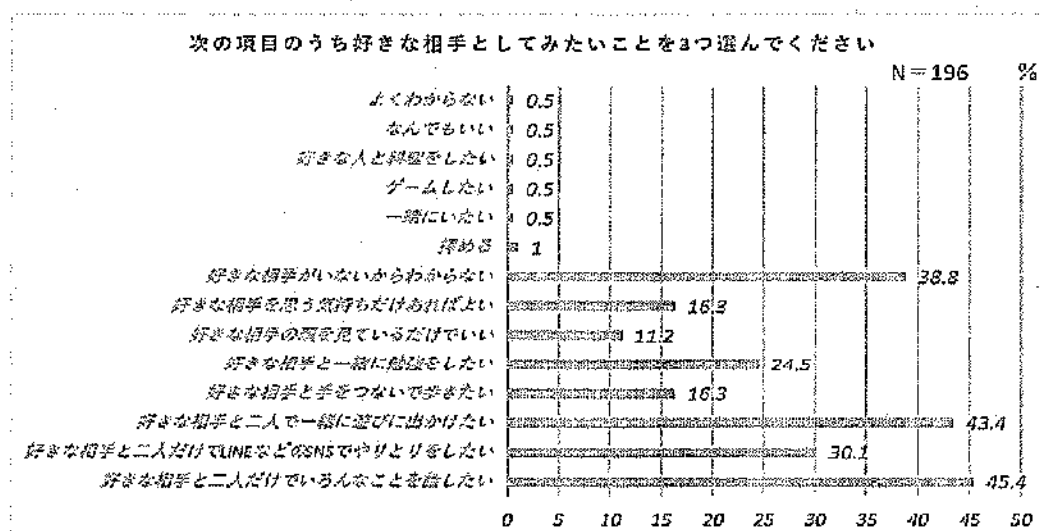
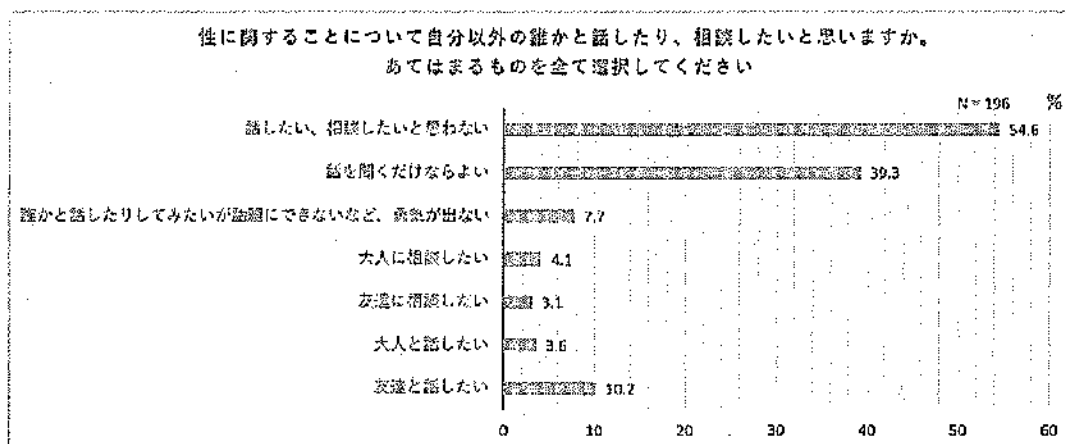
（2）思考力、判断力、表現力等

教師から出された課題の解決方法を見付ける力はあるが、自分で課題を見付けたり、自分事として考えることは苦手である。性についてはまだ興味をもっておらず、性意識に対する向き合い方や実際に自分が性的欲求などを感じた時の適切な行動を選択することができる力はまだ備わっていない。

（3）学びに向かう力、人間性等

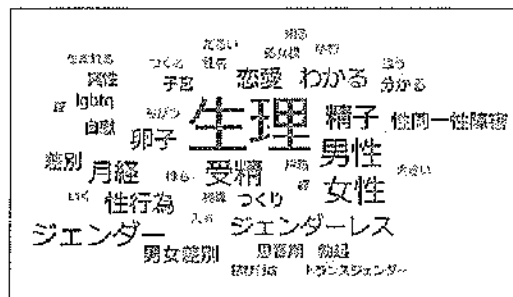
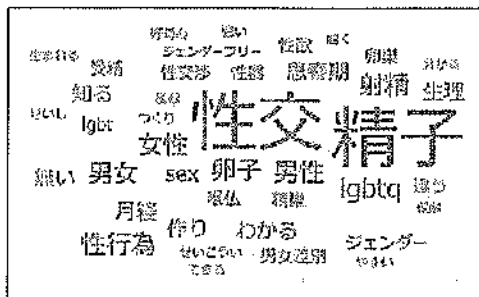
授業に対して真剣に取り組む生徒が多いが、発言には消極的である。性に関する話について「話したり、相談したりしたいと思わない」が約55%いることから、話題にしたり誰かに相談したりしづらいと感じている生徒が多いため、意見や考えの共有の仕方に配慮が必要である。

【生徒対象 事前のアンケート結果】

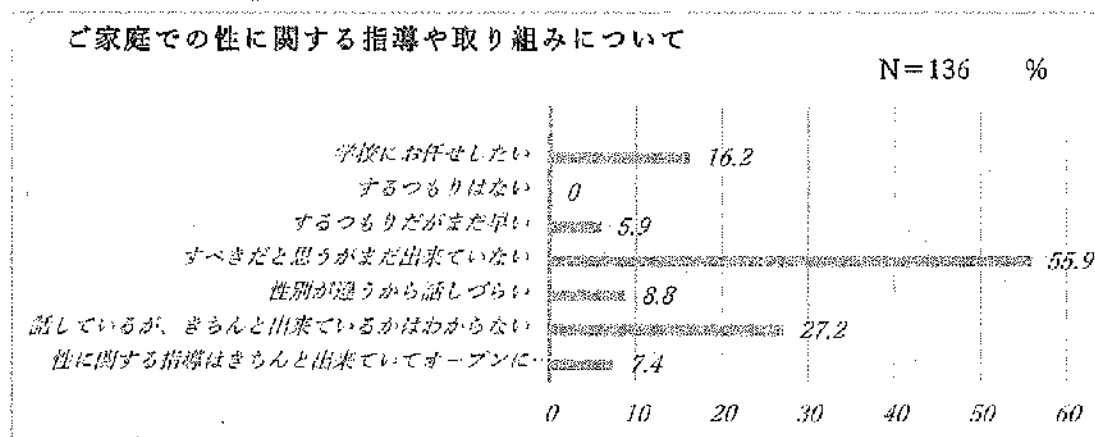


男子

女子



【保護者アンケート結果】



4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることなど正しい知識を身に付けさせることを目指す。「性とうどう向き合うか」について主体的に課題に向き合い、異性を尊重し自他を大切にする力を養うために、具体的な事例を用いて課題を発見し、改善策を知識や思考を深め、性衝動や性的欲求をうまく対処できる力を身に付けさせたい。

(2) 思考力、判断力、表现力等

「性とどう向き合うか」について具体的な事例を取り扱い、生徒が自分事として考え、課題を発見し、グループで話し合い、対話的な活動を通して解決方法を考え、生涯にわたって健康を維持できる資質・能力の育成を目指す。

(3) 学びに向かう力、人間性等

ICTや学習カードなどを活用し、グループで課題に取り組むことで、互いに助け合い、教え合うことで、安心して学習できる環境を作り出すとともに、生徒自身が自他の健康に関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じての実践力の基礎を養う。

5 単元目標

- (1) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、身体が成熟に伴う変化に対応した適切な態度や行動の選択が必要となることについて理解することができるようにする。

〈知識及び技能〉

- (2) 心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- (3) 心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合っている。 ②性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。	①心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価の計画（全3時間）本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	I ねらい ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解できるようにする。 ・生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 本時のねらいを確認する。 2 生殖機能の成熟について理解する。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること。 3 本時の振り返りとまとめ	①	①		ロイロノート 観察
2	I ねらい ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 ・心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいを確認する。 2 性意識の変化と性情報への対処について理解する。 主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 3 「生命(いのち)の安全教育」に関連付けた内容を取り上げ、理解を深める。 4 本時のまとめとまとめ	②		①	ロイロノート 観察

③	I ねらい ・性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいと学習内容を確認する。 2 ロールプレイ学習を行う。 3 「性との上手な向き合い方」について全体でまとめる。 4 授業を通しての自分の考えをロイロノートに記入する。 主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 5 本時のまとめとまとめ		②	ロイロノート 動画 観察
---	--	--	---	-----------------------------------

8 本時の学習と指導（3／3）

（1）ねらい

- ・性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

（2）資料及び準備するもの

大型テレビ、ホワイトボード、iPad、教科書

（3）展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意事項○、評価規準◆ 教諭 T1、養護教諭 T2
導入（5分）	1 前時の復習、本時のねらいと学習内容を確認する。	T1 ○前時に学習した性意識と性情報への対処について復習する。 ○復習の際、生徒タブレットに資料を提示する。 ○本時の課題を黒板及び生徒タブレットにて提示する。 T2 ○生徒の家庭環境や実情をあらかじめ把握し、個別に相談できるようにするなど配慮する。 【学習課題】異性を尊重する態度を身に付け、よりよい人間関係について考えよう。

2 ロールプレイ学習を行う。

- ・ある交際中の男女（以下カップル）のやりとり（※1下記参照）の動画を見て、問題点と取るべき対応を個人でまとめる。

ロールプレイの流れ

- ・2人1組を作る。
- ・カップルを想定して行う。
- ・役Aは自分の気持ちを強要する役。
- ・役Bは強要に対し、相手の気持ちを考え、自分の気持ちを上手に伝える役。
- ・役Bが気持ちを強要してくる相手への対応の仕方を練習できるよう、4往復～6往復程度のやり取りをする。
- ・やり取りが終わったら、役Bは伝え方で工夫した点をペアに伝える。
- ・役を交代し、同じ流れで行う。
- ・自分が役Bのやり取りを自分のタブレットで撮影し、ロイロノートで提出する。
- ・ロールプレイが終わったペアは活動を通しての感想をロイロノートに記入し、提出する。

3 「性との上手な向き合い方」についてペアで考えた意見を全体で共有し、ロイロノートを使ってまとめる。

- ・自分が相手を傷つけたり、自分が傷ついたりしないように行動することについてペアで意見をまとめる。

4 授業を通して、今後の生活にどのように生かしていくのか自分の考えをまとめ、ロイロノートで提出する。

T2○動画を流し、カップルのやり取りを見させる。

- 動画を見ながら、改善点や取るべき対応についてロイロノートに記入する。

T1○2人1組のペアを作らせる。

- セリフカードを提示し、役Aと役Bは状況によってセリフが選べるようにロイロノートで提示する。
- 役Bは相手を思いやりながら自分の気持ちを伝えられるようにする。

T1 T2○助言が必要なペアに支援を行う



T1 T2○ロールプレイ前に記入した改善点や取るべき行動を行うことができたか、実際にやってみて感じたことを記入させる。

T1○役Bが相手を受け入れつつ、自分の意見をはっきり伝えられているペアの動画を全体で視聴する。ロールプレイを通して自分事として考えるために、よかった点や自分のペアとの違いについてペアで話し合い、ロイロノートに記入させる。

T1○前時の内容と本時の学習を通して、今後の生活において学びをどのように活かし、自分が性とどう向き合うかについての考えを、キーワードをもとにまとめさせる。

	主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。	T2○単元を通して気付いたことをロイロノートで提出させる。 ○提出された気付いたことの中で、中学生生活における性との向き合い方の視点のある意見を発表させる。 ◆性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。 （ロイロノート、動画、観察）【思考・判断・表現】 △「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への指導の手立て ・より良い人間関係のポイントを確認させる。 ・ロールプレイで気付いたことを確認させる。 ◎「十分満足できる」状況（A）と判断される生徒の具体的な姿 ・授業を通して学んだことを、今後の生活にどう生かしていくか具体的な考えをロイロノートに記入することができる。
まとめ （7分）	5 単元のふりかえりとまとめをする。（※2下記参照） 	T2○提出された個人の考え・意見から、性との上手な向き合い方について自分のこととしてとらえ記入できているものを紹介する。 ○本単元の内容を受けて、自分を大切にし、相手も尊重しながら生活していけるよう伝える。 ○学んだことを家庭で保護者の人と話し、保護者に感想を提出してもらう。

※1 カップルのやり取りの内容

2人でデートをしていたが、時間が遅くなったのでBさんは「もう帰ろう」と切り出した。すると、Aさんは「一緒に居たくないのか」「一緒に居たくないならもう別れよう」と怒鳴った。Bさんは別れるという言葉に困ってしまい、その後「帰ろう」と再度切り出すこともできず遅くまで一緒に遊んだ。

※2 養護教諭のメッセージセリフ

いま皆さんは思春期という時期にいます。この3時間を通して、思春期というキーワードは何度も出てきました。私を見てください(片足で案山子のように立って見せる)。どうなっていますか？みんなの心と体のバランスは、こんな風に1人では安定して立ってられない時期で、不安定な時期でもあるのが思春期といわれています。イライラしたり、感情的になってしまったり、不安をいつも以上に感じてしまったりする時期です。ものすごく様々なことに悩んだり、考えるすぎるくらい考えてしまう時期でもあります。ここまでの3時間の授業の中で、自分の気持ちを考えたり、知ってみたり、相手の気持ちを想像してみたりしてきました、非常に難しかったと思います。難しいなりに、今の自分自身を見つめ、よく考えることができたと思います。このような不安定な時期を生きている皆さんですが、このように、誰かの支えがあれば、この不安定な思春期もなんとか倒れず立っていられます。(もう一度、かかしのよう片足立ちをして、T1の先生に支えてもらい、しっかり立てるところを見せながら)



これから、皆さんはもっともっと体も大きく成長して、伴って心も成長していきます。中2・中3と進み、悩みの中身も変化するでしょう。初めての進路選択、受験も経験しますね。でも、今見せたように、誰かの支えがあれば、自分の足で、しっかりと立っていられます。自分で進んでいきます。みんなの周りには沢山の大人、ご家族、先生がいますね。ぜひ、大人を頼ってください。特に、ご家族は毎日皆さんと共に生活もしていますから、皆さんのことを一番よくわかっていると思います。そして心配もしていると思います。困ったときはぜひ、頼って、力を借りてください。

今日、タブレットを持ち帰り、ここまでの授業の資料をご家族に見せて、一緒に話しあってみてください。話題にして、ぜひ性について、今を生きることについて、一緒に考えてみてください。

最後に。

保健室を利用したことのない人が、このクラスには沢山いると思います。けがしたことがないし、行く用事がないという理由から、保健室を利用したことがないかもしれません。でも、保健室は心のことや自分のことについて話しをしたり、相談をしても良い場所です。保健室は、けがや病気でしか行ってはいけないという場所ではありません。身体や心、成長の悩みはもちろん、身体や心のこと、考えていることについて、ちょっと話したいなという時でも気軽に保健室を利用してください。いつでも聞きます。自分1人で悩みを抱えることなく、保健室もうまく活用しながら、この先の様々なことを乗り越えて頑張っていってほしいと思います。

9 板書計画

めあて

異性を尊重する態度を身に付け、よりよい人間関係について考えよう。

性との向き合い方で大切なこと

- ・相手を尊重する。
- ・個人差を理解する。
- ・自分を大切にする。
- ・お互いの気持ちを伝える。

よりよい関わり方

- ・いやだと感じたことは、いやだと言う
→自分の気持ちを伝えるべき時は、はっきりと言う
- ・相手の気持ちを受け入れる
→「そうだよね」「同じ気持ちだよ」
- ・いやなときは、相手と距離をおく

1.0 資料

役A セリフカード

気持ちを強要するセリフ

- 「私（ぼく）のこと好きじゃないの？」 「私（ぼく）は一緒に居たいのに」
「わがまま言うなよ」 「君のことが大好きだから一緒に居たいのに」
「好きならもっと一緒に居ようよ」 「なんで気持ちをわかってくれないの？」
「一緒に居たくないなら別れよう」 「別の子と遊ぶからもういいよ」

※相手の気持ちや考えに納得したら、気持ちを受け入れてあげよう。

役B セリフカード

相手に共感するセリフ

- 「そうだよね」 「気持ちわかるよ」 「〇〇だよね」

自分の気持ちを伝えるセリフ

- 「だけど、〇〇（理由や気持ち）だからさ」
「私（ぼく）は、〇〇（理由や気持ち）なんだ」

(高等学校部会)

令和5年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月22日（水）

4 会 場 県立北本高等学校
北本市古市場1-152

5 参加者 県内公立高等学校及び特別支援学校の教諭（保健体育科等）、養護教諭等
※特に、採用後1～3年目で、毎年開催される本授業研究会にこれまで一度も参加したことのない者（科目保健授業担当者）の参加について、御配慮願います。

6 日 程

- (1) 受 付 13時10分～ (会議室)
- (2) 公開授業 13時30分～14時20分 (多目的室4)
- (3) 全体会 14時35分～14時55分 (会議室)
- (4) 研究協議 15時00分～16時30分 (会議室)

7 公開授業

学年	授業者	单元名
2年	川尻 鈴ノ介 教諭	(3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ⑦思春期と健康

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	参事兼課長	松中 直司
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	遠井 学
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	龍野 雅美

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授
川口市立並木小学校校長
県立進修館高等学校教諭
県立和光国際高等学校養護教諭

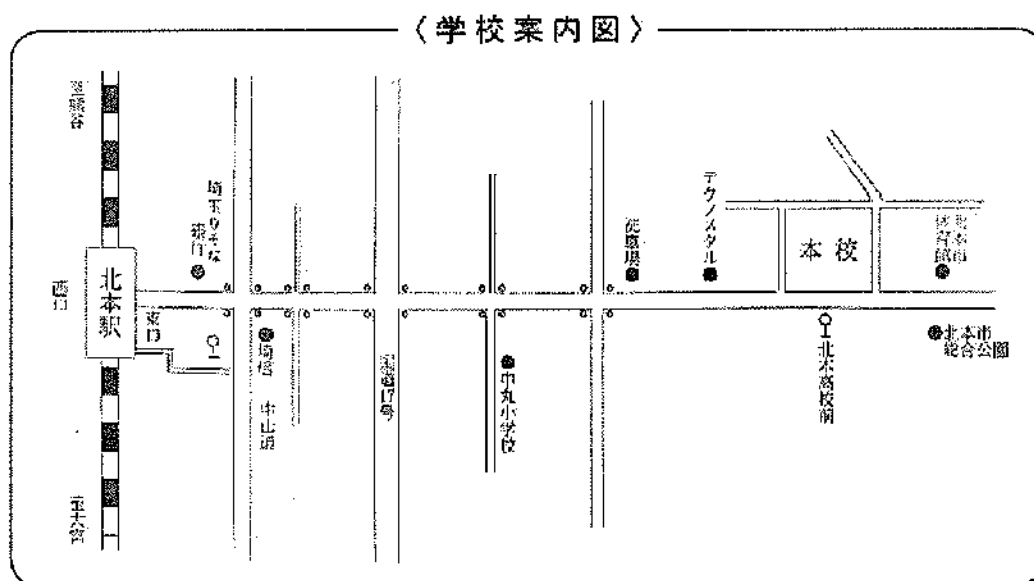
委 副 委 委	員 委 員	長 長 員 員
------------------	-------------	------------------

戸部 秀之
岩澤 奈々子
梨本 雄太
斉藤 美智子

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関で来校願います。
- ・お車でお越しの際は、北本総合公園に駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下の方法でお願いします。

県立北本高等学校への御案内



(2)

ア

生涯の各段階における健康

1 指導内容の系統性

中学校では、「心身の機能の発達と心の健康」において、年齢に伴って身体の各器官が発育し、機能が発達することを呼吸器、循環器を中心に取り上げるとともに、発育・発達の時期や程度には個人差があること、また、思春期は、身体的には生殖にかかわる機能が成熟し、精神的には自己形成の時期であることなどを学習している。

2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

要1) 生涯の各段階において健康について
の課題があり、

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要2) 自ら適切に対応する必要があることが
重要であることについて理解できる
ようにする。

要3) 我が国の保健、医療制度や機関を適切
に活用することが重要であることについて理
解できるようにする。

要4) 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階
の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっ
ていることが理解できるようにする。

ア

思春期と健康

(イ) 結婚生活と健康
健康な結婚生活について

心身の発達や健康状態など保健の立場から理解できるようにする。

その際

解2) 受精、妊娠、出産とそれに伴う
健康課題について理解できる
ようにする。

解3) 家族計画の意義や人工妊娠中
絶の心身への影響などについて
も理解できるようにする。

結婚生活を健康に過ごすには、

解4) ・自他への健康の責任
・良好な人間関係
・家族や周りの人からの支援
・母子への健康診査の利用などの
保健・医療サービスの活用が必要
なことを理解できるようにする。

ウ

加齢と健康

※「現代社会と健康」

解1) 現代の感染症とその予防の性感染症
エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個
人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。

《指導案作成》
9 / 10 時間

3 知識を活用した学習活動（9／10時間目）

性に関する指導について、正しい理解をもとに今現在あるいは将来に生かすことを目的に、自分事として捉えることができるよう、ケーススタディや話し合い活動などを積極的に取り入れていく。最終的には健康と命の大切さに触れることはもちろん、性についての学習にとどまることなく、自他の健康に関心を持ち、その課題を解決し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てることをゴールとする。そのための授業として本時の学習内容を設定し、知識を活用した学習活動とする。

<導入>

前時までの復習

各単元で学ばれた知識を再度確認し、展開につなげることとする。

<展開1>

習得① ※確認

前時までに学んだことを生かして、現状・課題を明らかにする。

性に関する課題解決のためにできることを考えるための次の発問につなげる。

習得②

※「生命(いのち)の安全教育」の視点から改めて性についての見識を深めることの意義を確認する。

<展開2>

活用①

課題 「日本における性課題を解決するために、
私たちができることはなんだろう。」

発表をうけてポイントを再度認識するとともに、社会において性に関する課題あることに気づかせる。課題については、性被害・性暴力件数、人工妊娠中絶の件数、性感染症に罹患率などグラフで示す。

課題を明らかにした後に、課題解決のための方策を各班で話し合う。

<展開3>

まとめ

課題解決のための方策について発表をさせる。また性に関する指導全体の振り返りをさせ、ワークシートに感想を記入させる。※発表や提出されたワークシートをもって、学習の評価と照らし合わせ、指導と評価の一体化を目指す。

評価①(知識・技能)

【観察・ワークシート】

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。

評価②(思考・判断・表現)

【観察・ワークシート】

生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。

評価①については、習得①の場面で、評価②は活用①でそれぞれ観察・記録に残す評価として行い、最終的には授業中の観察記録と生徒が提出したワークシートの記述を見て評価するようにする。

保健体育科（科目保健）学習指導案

令和5年11月22日(水) 第5校時 多目的室④

第2学年5組

男子20名 女子9名

指導者

教諭 川尻 鈴ノ介

1 単元名 「生涯を通じる健康」(ア) 生涯の各段階における健康

2 単元について

「生涯を通じる健康」(本単元)では、生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解することが求められている。同時に、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要があることから、本単元では、以下の内容を中心として構成される。

- ① 思春期、結婚生活、加齢の各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること
- ② また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること
- ③ 自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること

以上を踏まえた上で、学習指導要領の「性に関する指導」の内容については、(イ) 生涯の各段階における健康の時数を8と定めることとし、各段階における理解をより一層深められるよう充当する。また、学習のつながりを鑑み、「現代社会と健康」(イ)の現代の感染症とその予防の性感染症についても本年度時数2として取り扱うものとし、時数は計10となる。各年代における精神面の成熟や正しく性を理解するなかで今後の意思決定・行動選択につなげていくことはもちろん、個人の取組に限らず、性に関する指導の普及、正しい情報の発信など社会的な対策や環境づくりが必要であることを理解することが本時のメインとなる。

3 生徒の実態

(1) 知識及び技能

小学校、中学校段階における性に関する指導を受けてきた生徒がおおむね見られる。一方で、学習カードや授業中の発言より内容や基本的知識について曖昧な生徒がいたり、誤った情報を鵜呑みにしたりする生徒が多い印象がある。生徒の理解を深める授業を展開するための工夫・準備が必要である。

(2) 思考力、判断力、表現力等

普段の授業では、自分の考えを仲間と共有したり、発表の機会を意図的に増やしたりするなど思考・表現力等の向上を図ってきた。自己や社会の課題発見、解決に向けた話し合いなど、対話的な学習にも前向きに取り組むことができる生徒が多いが、一方で、対話や他者とのかわりを苦手とする生徒も一定数いる。指導においては、興味・関心を引き出しつつ、安心して学ぶことができる環境づくりが重要である。

(3) 学びに向かう力、人間性等

明るい雰囲気があり、素直な生徒が多いクラスである。保健の学習にも前向きに取り組もうとする生徒が多い。身近な話題など自分事として捉えられるような課題に対する学習意欲は高い。一方で、学びに向かう意識についての生徒間の差が大きいことから、消極的な生徒にも前向きに取り組める学習課題とするなどの配慮が必要である。

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

性に関する指導については段階的学び、いわゆる既習事項として知識が定着しているが生徒がいる一方で、興味・関心や経験の程度は一人一人異なっており、保健の学習に対する学習意欲は偏りがある。本単元では、確かな知識が学びの基盤になることを踏まえ、適切に指導していく。習得した知識が今後の実生活につながり、生きた教材・生きた知識となるよう配慮し、学習内容を明確にしていく。

(2) 思考力、判断力、表現力等

正しい理解をもとに今現在あるいは将来に生かすことを目的とし、自分事として捉えることができる教材の工夫をしていく必要があると考える。具体的には、ケーススタディや話し合い活動などを積極的に取り入れ、自分たちが考え、発表し、評価を得る過程の中で、自己効力感・自己決定感を感じられる授業実践をしていく。

(3) 学びに向かう力、人間性等

確かな知識を高めることはもちろん、適切な行動が求められる現代において、自分事として捉えて学びを深めていく必要があり、非常に重要な学習範囲となる。最終的には健康と命の大切さに触れること、性についての学習にとどまることなく、自他の健康に関心を持ち、その課題を解決し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てていきたいと考える。加えて、適切な情報の扱いや心の成長の重要性、今回、性に関する指導を受ける意義・目的を明確にし、本時の授業につなげたい。

I 学習（指導）内容の明確化

学習内容の理解と深まりを図るため10時間扱いとする。詳しくは、「7単元の指導と評価の計画」に示す。

II 基礎的・基本的な知識の習得と知識を活用する学習活動の実践

一斉教授型の授業スタイルで性に関する基本的な知識の習得を目指すことに加えて、自らが課題を見つけ、タブレット端末を活用したり、話し合いをしたりする中で、適切に行動するための方策について考える機会とする。本時については知識や理解したことを共有して、より深い学びにつなげる学習活動を展開する。また、対話的な活動を行い、指導のねらいである「性に関する指導」の課題を明らかにし、課題解決の実現に向けた行動選択につなげることはもちろん、環境づくりの大切さを実感し、多様な情報との付き合い方についても触れることとする。

III 学習内容を主体的に取り組ませるための教材の工夫

・ICTの活用と資料の工夫

本時では、プレゼンテーションソフトを活用して授業を展開する。豊富な情報を効率的に生徒に提供でき、視覚的に見やすくわかりやすいことから生徒の理解の促進につながると考える。また、板書する時間を省略することができ、生徒の活動時間を確保することや生徒の思考の助けとなることなどが期待できる。

資料については色付きで作成し、生徒が興味・関心を持ちやすいよう工夫することで、学習意欲の向上につなげる。また、グラフや表等の視覚に訴える資料の提示により、生徒の思考を促す一助とする。

5 単元の目標

- (1) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解できるようにする。 ＜知識及び技能＞
- (2) 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。 ＜思考力、判断力、表現力等＞
- (3) 生涯を通じる健康について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 ＜学びに向かう力、人間性等＞

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
① 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③ エイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④ 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、及び健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑤ 家族計画の意義や、人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑥ 結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑦ 中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	① 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ② 結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話したり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	① 思春期と健康、結婚生活と健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価の計画（全10時間）本時は○印

時	学習のねらい・活動	知	思	態	評価方法
1 思春期と健康	I ねらい 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。 II 学習活動 1 概要説明、思春期における男女の特徴並びに心理的特徴 2 まとめ 指導すべき内容 思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化すること。	①			観察 ワークシート
2 性意識と性行動の選択	I ねらい 思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解できるようにする。思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。 II 学習活動 1 概要説明、男女差について、LGBTQ+、SOGIについて 性情報の注意点について、生命の安全教育 2 まとめ 指導すべき内容 思春期における心身の変化に対応し、自分の行動への責任や異性を尊重する態度が必要であり、性に関する情報への適切な対処も必要であること。	②	①		観察 ワークシート
3 性感染症・エイズとその予防	I ねらい エイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。 II 学習活動 1 概要説明、性感染症の過去と現在 性感染症がもたらす影響 2 発表準備(ICT活用など)主な性感染症を一つ選択 3 発表練習 指導すべき内容 エイズ・性感染症の理解と今後の自らの行動選択を適切に行うこと。	③			観察 ワークシート
4 性感染症・エイズとその予防 II	I ねらい 同上 II 学習活動 1 前時の復習 2 発表 3 振り返り・まとめ 指導すべき内容 前時に加えて正しい情報の取り扱いについて適切に行うこと。	③			観察 ワークシート
5 妊娠・出産と健康	I ねらい 受精、妊娠、出産に伴う健康課題について理解できるようにすると共に、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。 II 学習活動 1 概要説明、受精・妊娠・出産について、 妊娠中の健康管理・配慮事項、産後について 2 まとめ 指導すべき内容 妊娠から出産、その後のサポートについて触れることとし、受精、妊娠、出産に伴う健康課題があること。	④			観察 ワークシート

6 避妊法と人工妊娠中絶	I ねらい 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できるようにする。 II 学習活動 1 概要説明、家族計画の意義について、避妊法について人工妊娠中絶について 2 まとめ 指導すべき内容 正しい理解と選択が不可欠であり、様々に責任が伴うこと。	⑤			観察 ワークシート
7 結婚生活と健康	I ねらい 健康な結婚生活は、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。 結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 II 学習活動 1 概要説明、結婚生活と心の発達について、結婚生活と家族の健康について、結婚生活の諸課題 2 まとめ 指導すべき内容 結婚生活には互いの理解と協力が必要であること。また周囲のサポートも取り入れるなどの選択もできるということ。一方で虐待等課題もあること。	⑥	②		観察 ワークシート
8 まとめⅠ	I ねらい 思春期と健康、結婚生活と健康、について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。 II 学習活動 1 流れの説明 2 発表準備(ICT活用など) 3 発表練習 指導すべき内容 まとめや発表資料について、誰もが端的で理解しやすい工夫を呼びかける。		①	①	観察 ワークシート
⑨ まとめⅡ	8、本時の学習と指導 参照	②	①		同上
10 加齢と健康	I ねらい 中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて理解できるようにする。 生涯の各段階における健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 II 学習活動 1 本時のねらい 2 中高年が抱えるの健康面で不安 3 加齢に伴う心身の衰えについて	⑦			観察 ワークシート

	4 生活習慣による中高年期の健康問題 指導すべき内容 加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面からあること・中高年期を健康に過ごすためには、若い時から自己管理をすること、生きがいをもつこと、家族や親しい友人と良好な関係を保つこと、地域と交流を持つことなどが重要であること・高齢社会の到来に応じて、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であること						
--	---	--	--	--	--	--	--

8 本時の学習と指導（9/10）

（1）ねらい

- ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- ・生涯を通じた健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>

（2）資料及び準備するもの

プロジェクター、スクリーン、ノートパソコン、ワークシート、マイク

（3）展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 5分	1 挨拶・出席確認 2 本時の説明と確認 3 前回までの振り返り	○挨拶、出欠・座席の確認をする。 ○本時の学習の流れを理解し、学習の見通しをもたせる。 ○前時までの内容について簡単に振り返りをする。 ○グループ活動をそれぞれ振り返らせる。
展開 35分	4 グループ活動の発表(20分) 趣旨説明・発表準備等 グループ A（思春期と健康） 思春期と健康 学んだこと ・女性の体と思春期（月経、排卵） ・男性の体と思春期（精液・マスターベーション） ・体型を気にしたり、経期不足を感じたりする ・欲求不満や悲観的になりやすく、それでイライラなどが起こること 大切なこと ・周囲のサポートを求める事 ・心身に影響する事を把握し、自身をコントロールすること グループ B（性意識と性行動の選択） 性意識と性行動の選択 学んだこと ・性意識の男女差 ・異性への尊重 ・信頼できる性情報と性行動の選択 大切なこと ・行動の結果を考え、責任をもって行動すること ・正しい情報をもとに行動すること 	○課題について、グループごとのワークシートにまとめたものを共有し、発表させる。 ○各グループの発表をしっかりと聞き、差異にも注目しながらメモを取るよう促す。 以下、生徒の発表内容に応じて随時補足していく ○個人差があるものの、思春期における性への関心の高まりは普通であること。また、この時期は心と体の成長にずれがあり、理想と現実での差がイライラなどにつながりやすくなるなど、自身の状況と重ね合わせながら考えさせる。 ○個人差があるものの、生物学的な男性女性で考え方に傾向があることや他者への理解が大切であること。多様な考え方が一般的になり、求められる一方課題もあること。性情報については、しばし誤った情報も含むこともあり、注意が必要なことなどを確認する。

グループ C (性感染症とその予防)

性感染症・エイズとその予防

梅毒では、発症すると二期に症状が現れます。症状は現れたり自然に消えたりを繰り返すので、病院の治療の継続が大切です。

淋菌感染症は淋菌は強い菌なので、感染者の粘膜から離れると感染力を失い、日光や高温の変化、消毒剤で簡単に死滅します。

大切なこと

- ・一回の性的接触でもかかる場合がある。
- ・相手への配慮が大切
- ・コンドームの使用、パートナーとの検査、治療

性感染症についてあまり深く知らなかったで、病気がどのような症状になるのかしれてよかったです。

グループ D (妊娠・出産と健康)

妊娠・出産と健康

＜学んだこと＞

- ・受精・妊娠・出産までの流れ
- ・妊娠中は胎児への影響を考慮し飲酒や喫煙は控えること
- ・出産には母体の負担が大きいこと
- ・マタニティーブルー・産後うつ
- ・母子保健リーフ

＜大切なこと＞

- ・周囲のサポートを受けること
- ・パートナーとの協力が大切であるということ



グループ E (避妊法・人工妊娠中絶)

避妊法と人工妊娠中絶

学んだこと

- ・主な避妊法：ピル、コンドーム、ルピ、避妊手術、緊急避妊ピル
- ・確実な避妊法は「性交しないこと」
- ・人工妊娠中絶：妊娠週22週未満に限って、手術によって胎児を母体外に出すこと
- ・特別な理由がある場合に限り、母体保護法により認められている
- ・女性にとって身体的負担や精神的な負担が大きい

大切なこと

- ・望まない妊娠をしないために互いを理解すること
- ・尊重できる関係でいること
- ・避妊の重要性を理解すること



グループ F (結婚生活と健康)

結婚生活と健康

学んだこと

- ・結婚とは法律で定められた婚姻状態にある夫婦
- ・精神面の発達
- ・互いの健康状態を知っておくこと
- ・食事や住環境に配慮すること
- ・高校生の時期から心身の健康づくりに努めること

大切なこと

- ・パートナーとの協力
- ・責任感
- ・精神面の発達が不可欠であるということ

○まとめのポイント

情報を詰め込みすぎでないか
端的に言うとは何が一番大切な
単元を通して学び考えたことは？

前時までに学んだことを生かして、現状・課題を明らかにする。
性に関する課題解決のためにできることを考えるための次の発問につなげる。

○予防を怠ると一度の性行為で感染する可能性があること。
とりわけ梅毒に増加傾向がみられること。パートナー同士で予防あるいは罹患した場合には治療が大切だということなどを確認する。

○まず自分が生まれてくる確率を振り返り、改めてかけがえない存在であることを自覚できるような声掛けを行う。
妊娠から出産、その後に至るまでパートナーとの協力・育児の参画が不可欠であるということなどを確認する。

○家族計画の重要性について今一度確認させる。そのうえで、子どもを望まない場合には、避妊法を適切に行う責任があることを確認させる。人工妊娠中絶については、身体的・精神的負担が大きいこと。一方で、選択することは間違いではないこと。いずれも責任が問われることを再度確認する。

○結婚生活では協力や思いやりなど精神的な発達が求められること。健康的な生活を送るためにも互いのことを理解し行動していくことが求められているということ。一方で、虐待に代表されるように課題があることなどを確認する。

◆思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】

△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て
・グラフや表の数値の部分に着目させる。
・前時のメモや仲間の発言を参考にさせる。
◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿
・前時の授業で得た知識と実際の生活行動を結び付けて、自分の考えを発言している。
・周りの意見をメモするなど、自分の考えに取り入れている。

	5 問題提起・課題解決	○発表後、改めて性についての見識を深めることの意義を確認する。※「生命（いのち）の安全教育」の視点から ○そのうえで課題があることを確認させ、次の学習活動につなげる。課題については、性被害・性暴力件数、人工妊娠中絶の件数、性感染症に罹患率などグラフで示すものとする。
	課題 日本における性課題を解決するために、私たちができることはなんだろう。 【発問】 性課題を解決し得る、取組・方策は何が考えられるか？ グループで話し合い（12分） 発問の回答をジャムボードにまとめる 6 発表（3分） 2グループ程度 （予想される回答） SNSの利用・CMの作成 職場での講習を義務化など ↓実際の授業で出てきた回答 個人 ・保健も授業もまじめに受ける ・性に関する考え方を要える 社会 ・スマホの広告（YouTube等） ・SNSへの発信（インスタ、X等） ・チラシを配る	○発表を受けて課題を明確にし、性課題解決の重要性を理解した上で、社会的取り組みについて考えさせる。 ○考えが難しい場合は、タブレット端末を用いてもよいが、極力使わないものとし、生活の中にヒントがあることを伝え、考えさせる。活発な議論がなされるように声掛けを続ける。 ◆生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】 △「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て ・各グループの発表内容から、キーワードを確認させるとともに、身近な生活の中にあるヒントに着目するよう促す。声掛けを行う。※教育や自治体について、SNS等の活用等 ・仲間との話し合いの中で自分なりに考えさせる。 ◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿 ・具体的に性課題解決の方策を示し、自分の考えについて筋道を立てて説明している。 ○クラス全体で共有する中で、理解を深める。
終末 10分	7 振り返り・まとめ・次回予告 8 挨拶	○ワークシートに今回の自分の中で起こった変化や新たな理解について記述させる。発表させ、まとめにつなげる。 ○挨拶、ワークシートの提出を指示する。

【授業の様子】



「生涯を通じる健康」生涯の各段階における健康 ーまとめー ワークシート

組 番 氏名 _____

○グループ活動・発表 他の班の発表から、わかったことを書き出そう！

A 思春期と健康

B 性意識と性行動の選択

C 性感染症・エイズとその予防

D 妊娠・出産と健康

E 避妊法と人工妊娠中絶

F 結婚生活と健康

メモ

・
・
・
・

○日本における性課題を解決するために、私たちができることはなんだろう？

個人

社会

○まとめ

今回の授業で新しく知ったことやイメージがどのように変わったか書いてみよう！

Ⅳ 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会

令和5年度埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 学校における性に関する指導の充実を図るため、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) 児童生徒の発達の段階や地域の実態に応じた性に関する指導のための指導計画の研究
- (2) 各学校における効果的な指導法や指導教材に関する研究
- (3) 性に関する指導の授業研究会の実施とその効果の検証に関する研究

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

2 委員会に委員長を置き、学識経験者をもって充てる。

3 委員会に副委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部参事兼保健体育課長及び県立学校長又は市町村立学校長をもって充てる。

(運営)

第4条 委員長は、委員会を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、令和6年2月29日までとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長を務めるものとする。

2 委員長が、必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

(事務局)

第7条 委員会は、事務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和5年6月2日から施行する。

別 表（第3条関係） 委員

学識経験者
公立学校校長
教諭
養護教諭
保健体育課長

学校健康教育推進事業(「性に関する指導」課題解決支援事業)

【児童生徒を取り巻く状況】

- ・ 性情報の氾濫など社会環境の急激な変化により、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えている。
- ・ 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶が問題となっている。

【課題】

- ・ 子供たちが性に関して適切に理解し、行動できるようにすること。
- ・ 心身の発育・発達と健康や性感染症の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- ・ 自他を尊重する心を育むこと。

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会の開催

- 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会を設置し、発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法の研究を行う。
- ・ 県における課題の把握
 - ①性感染症 ②人工妊娠中絶 ③性情報への対処 ④家族計画の意義 など
- ・ 課題解決方法の協議、検討
- ・ 事業成果の検証
- ・ 事業成果の普及・啓発

【構成員】

有識者、学校関係者 等

指導
助言

報告

「性に関する指導」指導者研修会の開催

- 性に関する健康課題を受け、指導方法の普及推進を図るため、学校における指導者を対象に研修会を開催
- ・ 行政説明 実践発表 講演会

「性に関する指導」授業研究会の開催

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法について授業研究会を実施。
- ・ 校種別に授業研究会を開催
- ・ 研究協議 等

子供たちの豊かな心と健やかな体を育成する

令和5年度 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会名簿

		氏 名	所 属	職 名
1	委員長	戸部 秀之	埼玉大学教育学部	教 授
2	副委員長	岩澤 奈々子	川口市立並木小学校	校 長
3	副委員長	松中 直司	教育局県立学校部保健体育課	参 事 兼 課 長
4	委員	川尻 鈴ノ介	県立北本高等学校	教 諭
5	〃	梨本 雄太	県立進修館高等学校	教 諭
6	〃	斉藤 美智子	県立和光国際高等学校	養 護 教 諭
7	〃	江夏 彩香	春日部市立東中学校	教 諭
8	〃	三好 明日美	所沢市立小手指中学校	養 護 教 諭
9	〃	力丸 真智子	志木市立志木中学校	養 護 教 諭
10	〃	綿貫 聡	毛呂山町立泉野小学校	教 諭
11	〃	藤田 晃輔	八潮市立八幡小学校	教 諭
12	〃	塩澤 美保子	本庄市立藤田小学校	養 護 教 諭

1	事務局	遠井 学	教育局県立学校部保健体育課	主 任 指 導 主 事
2	〃	脇田 一 亮	教育局県立学校部保健体育課	主 幹
3	〃	澤村 文香	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事
4	〃	坂上 三四郎	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事

令和5年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業
実施報告書

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	松中 直司
教育指導幹事	大松 武晴
主任指導主事	遠井 学
主幹	脇田 一亮
主査	峰岸 宏次
指導主事	澤村 文香
指導主事	龍野 雅美
指導主事	坂上三四郎
主事	金井 孝太

令和6年3月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」